



- 1 完成したNo.6橋
- 4 杭打ち工事
- 2 架け替え前のNo.6橋
- 5 No.12橋：架け替え前の降雨後の状況
- 3 鉄筋工の作業状況
- 6 完成セレモニーでテープカットを行う和田大使（中央）

幹線道路の橋梁を整備し、独立後の経済発展を支援する

【南スーダン】ジュバ市道路橋梁整備計画

コンサルティング (株) 建設技研インターナショナル

長く続いたスーダンの内戦は2005年に成立した南北政府間の包括和平合意で終止符が打たれ、南スーダンは昨年7月9日に独立した。アフリカで54番目の国である。内戦で荒廃した国土の復興が急がれているが、わが国もさまざまな分野で援助の手を差し伸べている。

首都ジュバ市は和平合意後に順調な経済回復を見せ、交通量も急激に増加している。しかし一方では、橋梁の老朽化や排水路の不備によって、降雨後は幹線道路でも車両の通行がしばしば遮断され、戦後復興の大きな阻害要因となっている。

このような状況を改善するために、今回のプロジェクトでは6橋梁が建設された。ジュバ市では初めての本格的な橋梁であり、現地では高い評価を得ている。

南スーダンではあらゆる物資が不足しており、この案件

でも、鉄筋やセメントはケニアや南アフリカからの輸入によって調達した。また、大雨で工事現場が水没することも多く、その都度工事再開には大変苦労した。このような困難を乗り越えて日本企業が初めて建造した橋梁であり、高い品質や納期の厳守などで日本のイメージアップに貢献している。

今回のプロジェクトで橋梁が完成したことで、降雨後の道路浸水によって発生していた車両の通行遮断や迂回路の渋滞が解消される。市内の交通が円滑になり、ひいては社会・経済活動が活性化することで、内戦後の平和の定着と市民生活の向上が促進される。

施設建設 (株) 利根エンジニア